

お母さん（佳子）も奥さん（恵美子）も写専卒。
叔父さん（金塚典之）までもが写専卒。
わたし（光昭）も卒業して25年
三輪山のある桜井市、三輪山の伏流水で家族は育った。

豊田 光昭 × 佳子 × 恵美子

© 豊田光昭

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.14

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

奈良県写真師会青年部を今年で卒業したのですが、
みんなが卒業式を開いてくれたことに感動しました。
なんと、そこに写専同期の山崎副校長が出席。
二度、感動でした。



© 豊田光昭

わたしは機械等の組み立てと分解が趣味で嫁はスポーツ観戦が趣味です。静と動かもしれません。息子は星を見るのが趣味で長女は野球観戦で大いに盛り上がります。これも親から受け継いだ静と動かもしれません(笑)。

1991年に写専を卒業して実家の写真館「光画園」を三代目として継いだ豊田光昭氏(45)は同じ年齢の奥様、恵美子さん(45・写専卒)との間にお二人の子どもがいる。長男は天体に興味があり、長女はバレーボールが大好きなようだ。非常に健康的な趣味である。きっと、奈良県桜井市の大自然の中でびのびと育ったのだろう。それに加えて地元の三輪山の伏流水のおいしさと栄養も大いに関係しているかもしれない。

光昭氏のお母さんも写専の卒業生である。母の出した学校に息子を通わせるといふことは同じ道を進ませる勇気ある決断であったに違いない。三輪山は美しい円すい形をした信仰の山である。パワースポットでもあるようだ。父が、母が登った三輪山「光画園」に息子も登らせようとする親心。今、息子夫妻が汗をかきながら、ひざを震わしながら登っている。その後ろ姿を

子どもたちが見ている。三輪山にはあの三島由紀夫も訪れて登拝しているようだ。三島も敬虔な気持ちで登ったのだろう。敬い慎む気持ちは営業写真館には重要なキーワードである。

光昭氏は「いつも心がけていることはお客様の満足のためにできることは全力で」と言う。お客様を敬い、友に家族に感謝の気持ちを持ち続けることが、祖父が創業時に志した信念である。光昭氏は恵美子さんと結婚して21年目だそうです。「奥さんに感謝していますか?」もちろんですよ。家族のためにいろいろと下支えしてくれています。大感謝です(笑顔) 大神社の参道には三輪そうめんのお店が並ぶ。そうめんを家族で囲んで食べている豊田家の姿が目につく。なんと微笑ましい光景だろうか。神の麓で頑張っている「光画園」その恵みを受けて四代目が立ち上がるはずだ。(は)